

報道関係者各位

2022年6月13日

社会福祉法人東保育会

<https://www.higashihoikukai.or.jp/>

## 甦れ！東京の里山

### ゆうしの里山から始まるSDGsと自然環境教育

社会福祉法人東保育会（稲城市）は6月4日土曜日、当法人の運営するゆうしの里山の活動が活発になってきたことを祝い、地域農家や団体、稲城市長をはじめ市の職員を招きお披露目会を開催しました。参加した来賓の方々が稲城の里山の未来に対する思いを語り合いました。



2022年6月4日、社会福祉法人東保育会（稲城市）は、管理する「ゆうしの里山」のお披露目会を執り行いました。子どもたちへの自然環境教育の大切さへの理解を深めていただくためにも、また、このエリアにおいても里山の生態系を取戻すためのスタートラインに立てたことを広く知っていただくため、お披露目会を開催いたしました。同地区で里山の維持管理を行う各団体の代表者や農家ら21団体と、社会福祉協議会会長、稲城市市長と市職員が集いお祝いしていただきました

東保育会は、市内4保育園や放課後支援を本業としており、子どもたちと自然活動を行いながら里山保全と里山再生に取り組み、当事業を始め3年目です。

SDGsにむけて様々な取り組みが各地で行われる中、稲城市には、都心に一番近い里山を持つ自治体として注目が集まっています。「失われた里山の環境を取り戻したい」というそれぞれの思いを参加者は語り合い、稲城の里山の未来と今後の活用方法についてと生態系について意見交換する良い時間となりました。東保育会ではこれからも、こんな姿であったに違いないという里山の姿を思い見つめつつ、目標を掲げた近隣団体と共に力を合わせてSDGsに深くかかわるこの事業に取り組んでまいります。

奥山を持たず、小さな森である稲城の里山は、人が適度に世話し活用しなければ生態系を維持することができません。我々が子どもたちへの自然環境教育に取り組むことが、里山にとっても持続的なサイクルの始まりに違いありません。オオタカもフクロウもいなくなってしばらくたつそうですが、いつの日か“ゆうしの里山”にも彼らが戻ってきてくれることも願い活動し続けてまいります。

問い合わせ先

TEL 042-378-6500(タケダ)

Mail [gakudou@hongoyuushi.ed.jp](mailto:gakudou@hongoyuushi.ed.jp)

法人名 社会福祉法人東保育会

法人住所 〒206-0812 東京都稲城市矢野口 2065

代表者 富岡孝幸

里山住所 東京都稲城市百村